

# 日本子ども家庭福祉学会通信

## 第40号

2019年10月発行

Japanese Society of Child and Family Welfare

No.40

### 第20回全国大会報告

2019年6月1日(土)・2日(日)の2日間、立命館大学衣笠キャンパスにおいて日本子ども家庭福祉学会第20回全国大会が開催されました。20回目の開催という、本学会にとっての大きな節目といえる年に、開催校として皆様をお迎えする貴重な機会をいただけたことを改めて感謝申し上げます。

今年度の大会テーマは、「育ちと巣立ち」―「貧困」の中で育つ子どもの自立支援」と設定し、近年子ども家庭福祉領域の重要なキーワードの一つとなっている「子どもの貧困」を取り上げました。「子どもの貧困」は、今を生きる子どもへの支援にとどまりません。貧困がもたらす様々な生きづらさの中で大人になっていく子ども・若者、そして社会資本の乏しい中で子育てする親への支援の現状と今後の課題をご来場の皆さまと議論することのできる2日間としたいという思いの中で準備してまいりました。

立命館大学産業社会学部は、学際学部として専門性の多様性に富んだ多数の教員を擁する学部ですが、本学会の会員はわずか二名という状況です。竹内謙彰・産業社会学部長には、非会員でありながらも本学会の趣旨にご賛同いただいて大会長をお引き受けいただいたほか、京都造形芸術大学や大阪歯科大学等、近隣に所属する会員のお力添えをいただきながらの準備を進めてまいりました。

大会両日の参加者は、日本子ども家庭福祉学会の学会員、非学会員(児童福祉関係者・一般市民ほか)、学生などの参加者、および運営スタッフ、関係者等を

あわせて329名となり、例年より少ないものの活発な意見交換が行われ、有意義な二日間となりました。

大会第1日目の記念講演では、関西大学の山縣文治先生に、「子ども家庭福祉学会の20年と子ども家庭福祉のこれから」をテーマにお話いただきました。子ども家庭福祉学会設立当時の国内外の情勢、設立の経緯についてお話しいただいたことも若い会員にとっては貴重な機会になったのではと考えます。さらに、この20年のわが国の子どもや家族をめぐる状況の変化をふまえたうえで、少子化、児童虐待、社会的養護といった今後私たちが研究・実践課題として取り組んでいくべき重要課題の展望についてお話しいただきました。

続くシンポジウムでは、経済的な貧困、そして人と人とのつながりの貧困、様々な「貧困」の中で育つ子どもたちの「育ち」と社会への「巣立ち」をテーマに、子ども家庭福祉学の研究を深めることを目指して、野田正人先生をコーディネーターとして、川瀬信一氏(「そだちとすだち」主宰)、村田潔氏(滋賀県里親会)、長瀬正子氏(佛教大学)、山田勝治氏(大阪府立西成高校)、野尻紀恵氏(日本福祉大学)の6名のシンポジストよりお話しいただきました。様々な困難の中で育っていく子どもたちの「巣立ち」に向けた支援の重要性とともに、「巣立ち」のその後もつながり続けることの重要性、支援者同士のつながりの重要性について、意見交換が行われました。

シンポジウム終了後にはキャンパス内の食堂で懇親会が催され、参加者相互の親睦および研究活動の情報交換などが積極的になされました。大会2日目(6月2日(日))は、学会員による自由研究発表が、7分科会で28題行われました。社会的養護、保育、里親支援子育て支援、海外の福祉等々、幅広い領域にわたっ

て子ども家庭福祉に関する研究発表がなされ、フロア参加者と活発な質疑応答・議論が展開されました。

今回の大会の準備にあたっては、林浩康会長をはじめ、山本真実先生、澁谷昌史先生ほか理事・幹事の皆様には多大なご支援を頂戴しました。本当にありがとうございました。また、ご参加いただいたお一人お一人の熱意なしには充実した二日間にはなりえなかったと考えます。実行委員会一同、至らない部分も多々あったかと思いますが、大会の運営を温かく見守っていただきありがとうございました、改めてお礼申し上げます。

次回、第21回大会は東洋大学で開催される予定です。実行委員一同、第21回大会のご成功を心よりお祈りしております。

(第20回大会 大会事務局 立命館大学 石田賀奈子)

## 2019年度 第1回 理事会報告

場 所：立命館大学衣笠キャンパス

日 時：2019年6月1日(土) 10:30~11:45

出席者(敬称略)：林浩康, 相澤仁, 川松亮, 木村容子,  
小林理, 増田まゆみ, 山野則子,  
山本真実, 湯澤直美, 澁谷昌史

欠席者(敬称略)：網野武博, 倉石哲也

### 1. 審議事項

#### (1) 2018年度事業報告・決算(案)について

資料に基づき説明がなされ、了承された。

#### (2) 2019年度事業計画・決算(案)について

資料に基づき説明がなされた。学会誌表紙刷新(事業計画7)とあわせ、学会ウェブサイトのトップページで使用されている写真についても修正を検討してはどうかとの提案があり、同案を学会誌表紙刷新と並行して検討することとした事業計画につき、了承された。なお、昨年度同様、繰越金を学会員に還元する観点から赤字予算を組んでいることについても了承されたが、他学会において繰越金を用いた事業を行う場合にどういった処理をしているか、情報収集していく必要性についても確認された。

#### (3) 第21回大会の開催について

2020年6月6日・7日に東洋大学白山キャンパ

スで開催することの内諾を得ていることの説明がなされ、了承された。

#### (4) 入会審査について

現在、全国大会での口頭発表申込締切日以前に入会審査が完了するように進行管理をしているが、今年度については、非会員がまず発表を申し込み、その後、会員となることを申請するケースが散見されたとの報告があった。「入会審査を経てから発表申込をする」という手順を大会校事務局と学会事務局とで相互に確認し、入会及び発表の申込期限等につき周知徹底していく必要性があることにつき、了承された。

#### (5) 民間団体活動推進調査研究事業の詳細についての見直し等

2018年度の事業実施状況を受け、申請書の書式について一部変更を加えることについて提案がなされ、検討、了承された。あわせて、報告書・会計報告書提出期日の徹底し、公表前に理事による報告内容についての確認が可能な期間を確保することとなった。また、事業成果を広く共有できるように民間団体ウェブサイト等で公開を促進すること、提出された報告及びCDRを国際文献社で保管依頼することが了承された。

#### (6) 20周年記念行事(学会活性化事業)について

林会長より原案が提示され、意見交換を行った。子ども家庭福祉学の本質にかかわるような議論としてはどうかとの提案があり、それを踏まえ、会長が中心となって引き続き企画案を練り上げていくこととした。記念行事の実施にあたっては、10月6日を候補日とし、立教大学池袋キャンパスを候補地とすることにつき、了承された。

#### (7) 学会誌の表紙の変更について

国際文献社に問い合わせたところ、1プランの提示で5万円、2プランで7万円になるとのことであった(いずれも単色刷り)。2プランを提示してもらい、理事間の投票で決定するとのことで、了承された。

#### (8) 理事・監事選挙実施に伴う選挙管理委員会の設置とスケジュールについて

2019年12月1日時点の入会者で名簿の確定を行い、2020年1月中旬に投票用紙を発送、2月中

旬に投票を締め切り、同月下旬に開票作業を行うとのスケジュールが提案され、了承された。選挙管理委員会は、現理事会メンバー以外の者を必ず含めて設置することとした。

## 2. 報告事項

### (1) 編集委員会報告

- ・第18号は、掲載本数が多く、当初予算よりも多くの支出をすることとなった。
- ・『子ども家庭福祉学』第19号は11月刊行予定。5月31日現在、新規投稿が13本あり、2本が採用、5本が査読中、6本が不採用となっている。
- ・査読委員については不足気味であり、同じ査読委員に連続して依頼をせざるをえないケースが出てきている。査読委員の継続的な追加、臨時査読委員の仕組みなどの検討が必要である。

### (2) 社会福祉学会連合総会の報告

- ・日本社会福祉系学会連合で「日本社会福祉系学会連合補助金制度」の募集が行われているので、必要に応じて活用することができる。
- ・他学会が行うイベントの開催情報などが整理されているので、学会連合のウェブサイトを参考にしてもらいたい。

### (3) 「2018年度民間団体活動推進調査事業」の実施経過報告

- ・2018年7月～2019年1月末日に申請を受け付けた。応募件数は5件。理事による審査を実施し、上位2件を採択した上で、研究費（上限30万円）の助成を行った。
- ・研究期間は2019年度末までである。
- ・助成先は、以下の通り；富士宮子どもBASE（研究代表者：徳永聖子）「放課後等デイサービスを利用する発達障害児に対する徒歩下校を支援する意義」（289,000円）／NPO法人国境なき子どもたち（knk）（研究代表者：小坂井真季）「カンボジアの児童養護施設退所者の自立に関する考察—knkカンボジアとの協働調査から」（300,000円）。

### (3) その他

- ・2018年度の入会者の確認が行われた。入会は47名（うち法人1名）、退会は32（正会員19名、自動退会13名）であり、2018年3月31日現在、正会員539名、法人会員4団体、会費納入率は90%であっ

た。自動退会が少なくないので、引き続き、会費納入について呼びかけをしていく。

## 2019年度 総会報告

2019年度の総会が2019年6月1日（土）に、立命館大学にておいて開催され、2018年度の事業報告・決算報告および2019年度の事業計画・予算が報告され、承認された。

## 2018年度 事業報告

### 1. 日本子ども家庭福祉学会総会・第19回大会の開催

#### (1) 2018年度総会の開催

日 時 2018年6月2日（土） 10時30分～12時00分

場 所 神奈川県立保健福祉大学

#### (2) 第19回大会の開催

日 時 2018年6月2日（土）～3日（日）

場 所 神奈川県立保健福祉大学

#### 2. 第20回大会の開催場所の決定

日 時 2019年6月1日（土）～2日（日）

場 所 立命館大学

#### 3. 第20回大会の開催準備

第20回大会開催に向けた準備を進める。また20回記念行事等の実施についての検討を行う。

#### 4. 理事会の開催

第1回理事会 6月2日（土） 神奈川県立保健福祉大学

第2回理事会 2月10日（日） 日本女子大学 目白キャンパス

#### 6. 学会機関誌『子ども家庭福祉学』の発行

編集委員会を設置し、学会機関誌『子ども家庭福祉学』の第18号を発行するとともに、第19号の発行の準備を進める。

#### 7. 会員の拡大及び会費納入の督促、メーリングリストへの登録の促進

会員拡大に引き続き努めるとともに、会費納入の督促を行う。またメーリングリストへの登録を促す。

## 8. 学会通信の発行

学会通信を2回発行した。(10月・3月)

## 9. 研究活動の活性化と学会ホームページの管理

## 10. 研究助成事業の円滑な推進に向けた規程づくりと実施

2019年度事業として実施する「民間団体活動推進調査事業」の研究公募を実施し、2件の採択を決定した。また、円滑な助成金の交付のための会計責任者の届及び、研究開始にあたっての覚書きの作成・取り交しを行った。

### 2019年度 事業計画

## 1. 日本子ども家庭福祉学会総会・第20回大会の開催

## (1) 2019年度総会の開催

日時 2019年6月1日(土) 10:00~

場所 立命館大学衣笠キャンパス

## (2) 第20回大会の開催

日時 2019年6月1日(土)~2日(日)

場所 立命館大学衣笠キャンパス

## 2. 第21回大会の開催場所の決定

日時 2020年6月6日(土)~7日(日)

場所 東洋大学(白山キャンパス)

## 3. 第21回大会の開催準備

第21回大会開催に向けた準備を進める。

## 4. 第22回大会の検討

## 5. 理事・監事選挙の準備と実施

## 6. 理事会の開催

第1回理事会 6月1日(土) 立命館大学

第2回理事会 9月21日(土) 大分大学(予定)

## 7. 学会機関誌『子ども家庭福祉学』の発行及び表紙

## の刷新

編集委員会を設置し、学会機関誌『子ども家庭福祉学』の第19号を発行するとともに、第20号の発行の準備を進める。20周年を記念して機関誌の表紙変更等のリニューアルを行う。

## 8. 会員の拡大及び会費納入の督促、メーリングリストへの登録の促進

会員拡大に引き続き努めるとともに、会費納入の督促を行う。またメーリングリストへの登録を促す。

## 9. 学会通信の発行

学会通信を2回発行する。(10月・3月)

## 10. 20周年記念行事の実施

学会発足20周年を記念して、近年の子ども家庭福祉政策の動向を踏まえた展望や学会として取り組むべき発信活動等を検討し実施する。

## 11. 研究助成事業の円滑な推進に向けた規程づくりと実施

2019年度事業として実施する「民間団体活動推進調査事業」の成果報告を全国大会にて行うことについての方法についての検討を行う。

### 第21回 日本子ども家庭福祉学会 全国大会のご案内

日時: 2020(令和2)年6月6日(土), 7日(日)

場所: 東洋大学 白山キャンパス

(〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)

大会テーマ(案): 「インクルージョンの現在と未来」  
(多文化背景, 障害などを具体的な例として)

現在, 学内での事務局体制等を検討していただいております。詳細が決まり次第, メーリングリストにて会員へお知らせいたします。

## 日本子ども家庭福祉学会 2018年度決算(案)・2019年度予算(案)

(単位:円)

(1) 収入の部		2019年度 予算案	2018年度 予算案	2018年度 決算案	2018年度 予決算差異	2019年度予算案備考
会費	個人年会費	2,784,000	2,700,000	2,856,000	156,000	@516名(2019/4/1時点会員数)×納入率90%÷ 464名×6,000円
	法人年会費	40,000	30,000	30,000	0	@10,000×4件(2019/4/1時点会員数)
	法人過年度会費	0	0	0	0	
	過年度会費	180,000	180,000	168,000	-12,000	30件分
	会費小計	3,004,000	2,910,000	3,054,000	144,000	
機関誌収入		20,000	20,000	34,668	14,668	1冊@1,000+送料実費
預金利子収入		450	450	6	-444	
雑収入		0	0	0	0	
特別会計		0	0	0	0	
当該年度収入合計(A)		3,024,450	2,930,450	3,088,674	158,224	
前年度からの繰越金		6,882,784	6,987,264	6,987,264	0	
収入合計(B)		9,907,234	9,917,714	10,075,938	158,224	

(2) 支出の部		2019年度 予算案	2018年度 予算案	2018年度 決算案	2018年度 予決算差異	2019年度予算案備考
印刷費	機関誌	720,000	620,000	730,927	110,927	実績に合わせて増額
	その他の印刷費	0	0	0	0	
	印刷費小計	720,000	620,000	730,927	110,927	
通信費	機関誌郵送	110,000	110,000	113,988	3,988	
	その他の通信	10,000	10,000	12,710	2,710	
	通信費小計	120,000	120,000	126,698	6,698	
消耗品費		21,000	21,000	24,445	3,445	学会誌発送用封筒ほか
事務委託費		1,100,000	1,100,000	1,102,492	2,492	
編集事務委託費		81,000	81,000	81,000	0	
編集・校正費		0	0	0	0	
謝礼		120,000	0	0	0	20周年記念シンポジウム
大会補助金		500,000	500,000	500,000	0	
会議費		5,000	25,000	0	-25,000	
交通費		15,000	30,000	0	-30,000	理事会(所属先からの支給がない場合)
学会活動活性化費		5,000	0	0	0	20周年記念シンポジウム
研究助成金		600,000	600,000	585,000	-15,000	「民間団体活動推進調査事業」2団体分
社会福祉系学会連合会負担金		40,000	40,000	40,000	0	
雑支出		5,000	5,000	2,592	-2,408	銀行振込手数料
選挙費用		200,000	0	0	0	
予備費		0	0	0	0	
特別会計		0	100,000	100,000	0	選挙事務費積立
支出合計(C)		3,532,000	3,242,000	3,293,154	51,154	
収支(A)-(C)		-507,550	-311,550	-204,480	107,070	
正味財産増加額(特別会計分)(D)		0	100,000	100,000	0	
当期正味財産増加額(A)-(C)+(D)		-507,550	-211,550	-104,480	107,070	
次年度繰越収支(B)-(C)+(D)		6,375,234	6,775,714	6,882,784	107,070	

## 日本子ども家庭福祉学会 2018年度決算 貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

科 目	一般会計
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	5,889,426
振替貯金 ゆうちょ銀行	4,488,197
普通預金 ゆうちょ銀行	1,401,229
前払金	1,089,000
流動資産合計	6,978,426
2 固定資産	
選挙事務費積立金(ゆうちょ銀行)	378,637
固定資産合計	378,637
資産合計	7,357,063
II 負債の部	
1 流動負債	
前受金(2019年度会費受領分)	336,000
前受金(2020年度会費受領分)	6,000
未払金(2018年度分)	132,279
流動負債合計	474,279
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	474,279
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	6,987,264
当期正味財産増加額(減少額)	-104,480
正味財産合計	6,882,784
負債及び正味財産合計	7,357,063

## 入退会者

## 2019年3月1日～2019年9月90日までの新入会員

中内 麻美	星美学園短期大学
畑山 麗衣	小規模住居型児童養育事業 野口ホーム, 特定非営利活動法人 Giving Tree
西岡 弥生	日本女子大学
涌井 大輝	板橋区社会福祉協議会
前川 洋子	豊岡短期大学
馬場 文	滋賀県立大学
山田 裕一	立命館大学
矢野 正	奈良学園大学
中澤 三和子	日本社会事業大学 研究生
青木 優佑	日本社会事業大学
岡本 工介	一般社団法人タウンスペース WAKWAK
飯村 愛	日本女子大学大学院

## 2019年3月1日～2019年9月90日までの退会者

飯島 益美	清水 冬樹
石川 修	安部 和歌葉
太田 由加里	野原 靖士
加藤 純	戸田 大樹
熊井 利広	安達 映子
成瀬 榮子	飯野 美伽
吉村 公夫	駒田 安紀
門永 朋子	氏家 博子
菊池 緑	浅井 拓久也
奥富 庸一	加藤 あゆみ
上原 あゆみ	三好 真人
大原 天青	根本 順子
麻生 洋	平山 妙子
中里 昌子	野々村 真希
伊藤 良高	

20周年記念シンポジウムの開催  
(2019年10月6日) 報告

2019年10月6日(土), 立教大学池袋キャンパスにおいて学会設立20周年記念シンポジウム「子ども家庭福祉における子ども・保護者・家庭の位置づけ～家庭依存体制からの脱却と新たな公共システムの創生を目指して～」を実施いたしました。当日, 登壇予定の山野則子副会長が体調不良にて急遽欠席となりましたが, 柏女霊峰元会長に開会あいさつをお願いし, 無事に開始致しました。林浩康学会長の基調講演の後, 森田明美先生(東洋大学教授), 網野武博先生(元東京家政大学教授)からのお話を頂き, 相澤仁特別企画理事のコーディネートのもと意見交換が行われました。当日は, 朝から雨模様のあいにくのお天気でしたが, 学会員・非学会員併せて60名ほどの参加をいただき, 無事に記念行事を行うことが出来ました。

本学会が, 今後どのような立ち位置での政策提言や研究を進めていくのかについて, 子ども・保護者・家庭の位置づけから考える機会となり, 有意義な機会を持つことが出来ました。追加の詳細につきましては, アンケート等の意見をまとめて, 3月号の学会通信にてお知らせいたします。

## 研究助成の募集について

2018年度より、新しい学会の活性化事業として、民間団体の活動を支援する研究に助成を行っています。2018年度の研究成果については、第20回全国大会にて発表いただき、報告書を提出していただきました。2019年度は、「放課後等デイサービスを利用する発達障害児に対する徒歩下校を支援する意義」と「カンボジアの児童養護施設退所者の自立に関する考察—KnKカンボジアとの協力調査から—」の2つの研究課題に助成中です。

現在、2020年度の研究助成を行っております。民間団体の活性化を目的とした研究事業に30万を上限に助成いたします。締め切りは2020年1月末です。詳しくは、日本子ども家庭福祉学会ウェブサイト (<http://www.jscfw.info/>) で必ずご確認ください。



## 〈編集後記〉

- ・すでにお気づきかと思いますが、学会ホームページのTOP画面の写真が新しくなっています。また、次号の「子ども家庭福祉学」より、表紙がリニューアルされます。お楽しみに。
- ・内容に関してご意見等がございましたら、メールにてよろしくお願いたします。
- ・学会費のお振り込みがお済みでない方は、速やかにお振り込みをお願いいたします。
- ・学会の入会承認が年2回になりましたので、全国大会での発表をお考えの方々ご注意ください。
- ・2020年1月には理事・役員の改選がございますので、会員の皆さまに投票をお願いいたします。投票率が低迷しておりますが、皆さまのご参加あつての学会活動ですので、今後の学会の発展のためにも投票をよろしくお願いたします。(Y)

## 日本子ども家庭福祉学会通信 第40号

発行日 2019年10月31日  
発行人 林 浩康  
編集人 山本 真実  
発行 日本子ども家庭福祉学会事務局  
〒162-0801  
東京都新宿区山吹町 358-5  
アカデミーセンター (株) 国際文献社  
Tel: 03-6824-9371 Fax: 03-5227-8631  
e-mail jscfw-post@bunken.co.jp